

6名の議員が市民の願い届ける 日本共産党千葉市議団

国保傷病手当 自営業者も対象に

あぐい初美

(稲毛区)
256-5897



国保の傷病手当金を、新型コロナウイルスに感染した自営業者やフリーランスも対象とし支給するよう国民健康保険条例の一部改正を提案しました。

市美術館利用 若者は無料に

もりた真弓

(花見川区)
250-9609



若い世代が広く芸術文化に接する機会と場を提供して、芸術文化の振興を図るため、条例の一部改正を提案しました。

コロナで影響を受けている文化・芸術の振興は重要です。

PCR検査を身近な医療機関で

かばさわ洋平

(緑区)
292-7764



PCR検査を身近な医療機関でできるように、財政支援と妊婦への検査支援が必要と迫りました。補正予算にPCR検査の患者自己負担分を公費で助成すること、さらに妊婦検査費用の助成も盛り込まれました。

青葉病院の感染症対策充実を

中村きみえ

(花見川区)
275-2470



市立病院はコロナ禍のもとで感染症の受け入れを行ない、市民の命を守る役割を果たしました。青葉病院の産科と小児科の入院病床削減はやめ、感染症病床の充実を求めました。

コロナ禍の弱者へ支援を早急に

ふくなが洋

(中央区)
263-4334



市の補正予算では、ひとり親世帯への支援や妊産婦への支援、学校活動再開への対策が盛り込まれました。支援施策の具体化と支援を早急に実施するよう求めました。

食料と農業を守れ

種苗法改正求める意見書に反対討論

野本 信正

(若葉区)
237-9068



種苗法改正は自家増殖を禁止し、種苗を企業が独占するものです。農家の費用負担の増加、消費者は野菜価格の高騰で負担増。二重・三重にも国民を苦しめる改正には反対です。

8月からの子ども医療費 薬局窓口負担増は撤回を!



こども未来局に署名を提出する党市議団(6/26)
累計で **7,219筆** を提出

コロナ禍で再検討を 求める請願が審議

自民、公明、未来民主など
反対し不採択に

コロナ禍で特に若い世代の収入が減るなかで、薬局窓口の負担増について再検討を求める請願が出されました。日本共産党千葉市議団は「受診抑制につながりかねない」と表明し請願に賛成しましたが、賛成少数で不採択となりました。

意見書・請願への各会派の態度

(○=賛成、●=反対)

意見書名 / 会派名	共産党	自民党	公明党	未来民主
感染症の基準病床数の増床を求める意見書	○ (提出)	●	●	●
PCR検査体制の抜本的な改善と強化を求める意見書	○ (提出)	●	●	○
消費税率5%への減税を決断するよう求める意見書	○ (提出)	●	●	●
核兵器禁止条約に署名・批准するよう求める意見書	○ (提出)	●	●	○
憲法への「緊急事態条項」の創設ではなく、憲法を生かすことを求める意見書	○ (提出)	●	●	○
検察の独立性を侵害する検察庁法改正案の撤回を求める意見書	○ (提出)	●	●	○

市民ネットワークは意見書を審議する議会運営委員会に委員がないため、態度表明はありません。